



フォルトゥナ通信

➡ FORTUNA AKTUELL - Japanese Version

名門クラブ同士の対戦が目白押し。

➡ DIE 2. BUNDESLIGA DER TRADITIONSVEREINE

東京オリンピックを目指して。

➡ DER WEG VON FORTUNA ZU OLYMPIA 2020 IN TOKIO

**選手インタビュー
アンダーソン・ルコクィ**

➡ INTERVIEW MIT ANDERSON LUCOQUI

2016/17 選手年鑑

➡ DER KOMPLETTE KADER DER SAISON 2016/17





premiumPARTNER

そのタイヤに、驚きはあるか。

TOYO TIRESのモノづくりは
いつでも「驚き」を追い求めています。
驚いて笑い、驚いて泣き、驚いて喜ぶ。
人の心を動かす「驚き」がなければ、
ドライバーの想いに応えるタイヤは作れないと
考えているからです。
ユニークな発想力と革新の技術力で、
世に出してはじめて、欲しかったことがわかるタイヤを。
誰も想像しなかった、常識を覆す性能のタイヤを。
私たちTOYO TIRESは自問し続けます。



SURPRISING THE WORLD

www.toyo.de | [f/ToyoTireDeutschland](https://www.facebook.com/ToyoTireDeutschland)

TOYO TIRES
driven to perform

デュッセルドルフから東京オリンピックへ

Von Düsseldorf nach Tokio zu Olympia 2020

フォルトゥナ・デュッセルドルフ日本デスク 瀬田元吾

Gengo Seta, Fortuna Düsseldorf Japandesk

日頃よりフォルトゥナを応援してくださり、誠にありがとうございます。新シーズンを迎えるにあたり、日本人の皆様に向けて、ご挨拶をさせていただきます。フォルトゥナは8月に開幕する2016/17シーズンも、ブンデスリーガ2部を戦うこととなります。4シーズン前には同1部リーグに所属し、バイエルンやドルトムント、シャルケなどドイツ中の名門クラブがこのデュッセルドルフへやってきました。それは素晴らしい記憶ですが、1シーズンのみの経験となってしまったことはとても残念です。54600人を収容するESPRITアリーナをホームスタジアムにしているフォルトゥナは、2部リーグでも2万5千人を超える観客動員数を誇るクラブです。またこのスタジアム

を満員にし、1部リーグでフォルトゥナ旋風を巻き起こす日を信じて、新シーズンも全力で戦ってまいりますので、是非今シーズンも、応援よろしく願いいたします。

また新シーズンは、日立グループ4社とトーヨータイヤヨーロッパ社、そして車パートナーとして日産自動車という日系企業様からご支援をいただくことが決定いたしました。そしてトップチームには日米ハーフの金城ジャスティン俊樹(19歳)、U19チームには海外育ちの伊藤遼哉(18歳)、そしてU17チームには日独ハーフのアペルカンプ真大(17歳)という、若き日本人選手たちが所属することになります。ドイツではすでに多くの日本のトップ選手たち



がプレーしていますが、フォルトゥナは未来の“サムライブルー”を育てていくことも目指しています。彼らは2020年の東京オリンピック世代ですので、デュッセルドルフから東京へ送り出すことが出来れば最高だと思っております。彼らの成長も楽しみにしていただければ幸いです。



Impressum



Herausgeber 発行元:
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.
Flinger Broich 87
40235 Düsseldorf

Leitung 情報管理:
Kai Niemann (medien@f95.de)

Chefredaktion 編集長:
Gengo Seta (japandesk@f95.de)

Fotos 写真:
Christof Wolff

Layout レイアウト:
Christian Lewandowski
(www.derlewan.de)

Druck 印刷:
Clasen GmbH



ブンデスリーガ2部 2016/17 分布

4節/21節
SpVgg Greuther Fürth

節	前半	後半	今節の順位
4.	□:□	□:□	□
21.	□:□	□:□	□

5節/22節
1. FC Heidenheim

節	前半	後半	今節の順位
5.	□:□	□:□	□
22.	□:□	□:□	□

6節/23節
VfL Bochum

節	前半	後半	今節の順位
6.	□:□	□:□	□
23.	□:□	□:□	□

7節/24節
Eintracht Braunschweig

節	前半	後半	今節の順位
7.	□:□	□:□	□
24.	□:□	□:□	□

8節/25節
Karlsruher SC

節	前半	後半	今節の順位
8.	□:□	□:□	□
25.	□:□	□:□	□

3節/20節
1. FC Kaiserslautern

節	前半	後半	今節の順位
3.	□:□	□:□	□
20.	□:□	□:□	□

9節/26節
TSV 1860 München

節	前半	後半	今節の順位
9.	□:□	□:□	□
26.	□:□	□:□	□

10節/27節
DSC Arminia Bielefeld

節	前半	後半	今節の順位
10.	□:□	□:□	□
27.	□:□	□:□	□

11節/28節
1. FC Union Berlin

節	前半	後半	今節の順位
11.	□:□	□:□	□
28.	□:□	□:□	□

12節/29節
SG Dynamo Dresden

節	前半	後半	今節の順位
12.	□:□	□:□	□
29.	□:□	□:□	□

2節/19節
VfB Stuttgart

節	前半	後半	今節の順位
2.	□:□	□:□	□
19.	□:□	□:□	□

13節/30節
FC St. Pauli

節	前半	後半	今節の順位
13.	□:□	□:□	□
30.	□:□	□:□	□

14節/31節
Hannover 96

節	前半	後半	今節の順位
14.	□:□	□:□	□
31.	□:□	□:□	□

15節/32節
Würzburger Kickers

節	前半	後半	今節の順位
15.	□:□	□:□	□
32.	□:□	□:□	□

16節/33節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
16.	□:□	□:□	□
33.	□:□	□:□	□

1節/18節
SV Sandhausen

節	前半	後半	今節の順位
1.	□:□	□:□	□
18.	□:□	□:□	□

17節/34節
Erzgebirge Aue

節	前半	後半	今節の順位
17.	□:□	□:□	□
34.	□:□	□:□	□

18節/35節
FC Erzgebirge Aue

節	前半	後半	今節の順位
18.	□:□	□:□	□
35.	□:□	□:□	□

19節/36節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
19.	□:□	□:□	□
36.	□:□	□:□	□

20節/37節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
20.	□:□	□:□	□
37.	□:□	□:□	□

21節/38節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
21.	□:□	□:□	□
38.	□:□	□:□	□

22節/39節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
22.	□:□	□:□	□
39.	□:□	□:□	□

23節/40節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
23.	□:□	□:□	□
40.	□:□	□:□	□

24節/41節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
24.	□:□	□:□	□
41.	□:□	□:□	□

25節/42節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
25.	□:□	□:□	□
42.	□:□	□:□	□

26節/43節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
26.	□:□	□:□	□
43.	□:□	□:□	□

27節/44節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
27.	□:□	□:□	□
44.	□:□	□:□	□

28節/45節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
28.	□:□	□:□	□
45.	□:□	□:□	□

29節/46節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
29.	□:□	□:□	□
46.	□:□	□:□	□

30節/47節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
30.	□:□	□:□	□
47.	□:□	□:□	□

31節/48節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
31.	□:□	□:□	□
48.	□:□	□:□	□

32節/49節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
32.	□:□	□:□	□
49.	□:□	□:□	□

33節/50節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
33.	□:□	□:□	□
50.	□:□	□:□	□

34節/51節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
34.	□:□	□:□	□
51.	□:□	□:□	□

35節/52節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
35.	□:□	□:□	□
52.	□:□	□:□	□

36節/53節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
36.	□:□	□:□	□
53.	□:□	□:□	□

37節/54節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
37.	□:□	□:□	□
54.	□:□	□:□	□

38節/55節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
38.	□:□	□:□	□
55.	□:□	□:□	□

39節/56節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
39.	□:□	□:□	□
56.	□:□	□:□	□

40節/57節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
40.	□:□	□:□	□
57.	□:□	□:□	□

41節/58節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
41.	□:□	□:□	□
58.	□:□	□:□	□

42節/59節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
42.	□:□	□:□	□
59.	□:□	□:□	□

43節/60節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
43.	□:□	□:□	□
60.	□:□	□:□	□

44節/61節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
44.	□:□	□:□	□
61.	□:□	□:□	□

45節/62節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
45.	□:□	□:□	□
62.	□:□	□:□	□

46節/63節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
46.	□:□	□:□	□
63.	□:□	□:□	□

47節/64節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
47.	□:□	□:□	□
64.	□:□	□:□	□

48節/65節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
48.	□:□	□:□	□
65.	□:□	□:□	□

49節/66節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
49.	□:□	□:□	□
66.	□:□	□:□	□

50節/67節
1. FC Nürnberg

節	前半	後半	今節の順位
50.	□:□	□:□	□
67.	□:□	□:□	□

デュッセルドルフからの距離

クラブ	km
VfL Bochum	54
Arminia Bielefeld	176
1. FC Kaiserslautern	280
Hannover 95	290
SV Sandhausen	292
Eintracht Braunschweig	332
Karlsruher SC	337
Würzburger Kickers	360
FC St. Pauli Hamburg	402
VfB Stuttgart	430
SpVgg Greuther Fürth	432
1. FC Nürnberg	446
1. FC Heidenheim	488
FC Erzgebirge Aue	560
1. FC Union Berlin	588
Dynamo Dresden	590
TSV 1860 München	601
合計	6,628



名門クラブ同士の対戦が目白押し。

Die 2. Bundesliga der Traditionsvereine

いよいよブンデスリーガ2部2016/17シーズンが開幕するが、今シーズンの2部リーグは近年稀に見るほどレベルが高いものになりそうだ。ブンデスリーガ1部所属経験を多く持つ1.FCニュルンベルクや1.FCカイザースラウテルン、VfLボーフムなどに加え、その1部リーグからの降格クラブは、VfBシュツットガルトとハノーファー96という名門クラブら。更に日本人選手を擁するカールスルーエSCやFCザンクトパウリ、そして元フォルトゥナキャプテンのアンドレアス・ランベルツ擁するディナモ・ドレスデンが3部リーグから昇格してくるなど、見所が多いシーズンとなる。

今年、1部リーグから降格してきたVfBシュツットガルトとハノーファー96は、数年前にはヨーロッパリーグに出場するなど、多くの代表選手を抱えてきた1部リーグでも名門クラブ同士。今季の2部リーグはそんな最強の降格クラブを中心に回っていくことが予想されるが、その対抗馬としては、昨季惜しくも入れ替え戦で昇格を逃した1.FCニュルンベルクや、近年安定したパフォーマンスで上位争いを続けているVfLボーフム。また、昨季は思わぬ低迷に苦しんだが、ポテンシャルは1部リーグ昇格候補の一つとして挙げても遜色がない1.FCカイザースラウテルンの存在も忘れてはいけない。更に宮市亮選手が所属するFCザンクトパウリも、昨季の勢いで昇格レースに食い込んでくる可能性があり、その前のシーズンに3位で入れ替え戦に挑んでいたカールスルーエSCも、ナンバー10を背負う山田大記選手らには注目だ。



また、フォルトゥナにとって特別な再会となるのは、3部リーグから昇格を果たしたディナモ・ドレスデンとの対決になるであろう。2002年から2015年までフォルトゥナのユニフォームを纏い、キャプテンとしてドイツの4部リーグから1部リーグまでのすべてを経験したランベルツが、ドレスデンの一員としてデュッセルドルフに乗り込んでくる。なお、この試合は11月初めに行われることになる。



フォルトゥナにとっての新シーズンは、アウェーでのSVザントハウゼン戦でスタートを切ることになるが、第2節のホーム開幕戦では早速、細貝萌選手が新加入したシュツットガルトを迎え撃つことになる。フォルトゥナが1部に所属していた2013年以降の対戦となるが、ESPRITアリーナで勝ち点を取らせるわけにはいかない。リーグ屈指のサポーターの後押しを受けて、フォルトゥナが強敵を返り討ちにしてくれるに違いない。

試合日程表 (前期ホームのみ)

Der Heimspielplan der Hinrunde 2016/17

節	日時	対戦相手
2	08月12日(金)	VfB Stuttgart
4	09月11日(日)	SpVgg Greuther Fürth
6	09月20日(火)	VfL Bochum
8	09月30日-10月03日	Karlsruher SC
10	10月21-24日	DSC Arminia Bielefeld
12	11月04-07日	Dynamo Dresden
16	11月25-28日	Hannover 96
17	12月09-12日	1.FC Nürnberg

*8節以降はまだ正式な日程が決定していないため、詳細はフォルトゥナ日本語HPで確認してください。

フォルトゥナ日本語HP:
japan.f95.de



東京オリンピックを目指して。

Der Weg von Fortuna zu Olympia 2020 in Tokio



フリードヘルム・フンケル監督の下、大々的な若返りを図っているフォルトウナのトップチームでは、19歳の金城ジャスティン俊樹が2シーズン目を迎え、熾烈なポジション争いの中で日々トレーニングに励んでいる。また今季は、その“弟分”チームにも2人のサムライが所属する。昨年U17日本代表にも名を連ねた伊藤遼哉がU19チームに、そしてこの1年間U16チームでプレーしていたアペルカンプ真大は、その活躍が認められ、今シーズンからU17チームへ昇格し、更なる飛躍を目指すことになる。

「東京オリンピックの日本代表として、日の丸を背負って戦いたい」今シーズンのフォルトウナには、この思いを胸に秘めた10代の若きサムライが3選手所属している。世界トップレベルと言われるドイツに身を置き、常に厳しい環境で切磋琢磨する彼らは、日本サッカーの将来を支える存在になっていくに違いない。

そんな3選手の中でも長男的な存在なのが、トップチーム所属の金城ジャスティン俊樹(19歳)。アメリカ人の父と日本人の母を持つ日米ハーフは、小学校までは沖縄で育ち、その後JFAアカデミー福島へ。そして同アカデミーを卒業後、ドイツへプレーの場を求めて渡独し、トライアウトを経て1860ミュンヘンのU19チームに加入し

た。その後、同U21チームでも7試合に出場して活躍したことが評価され、2016年1月にフォルトウナへの移籍が決まり、トップチームとのプロ契約を結んだ。フォルトウナ加入後、まずは同U23チームで10試合に出場し経験を積むと、トップチームでは昨シーズンの最終戦アイントラハト・ブラウンシュヴァイク戦で、初のベンチ入りを

果たすなど、着実なステップを踏んでいる。広い視野と確実なボールコントロールが武器のジャスティンは、ボランチを専門としている。7月の一次キャンプでは、フランス1部のクラブを相手に両足から強烈なミドルシュートを決めるなど、ポジション争いの中で好アピール。若手主体のチーム作りを進めていくことをコンセプトにしているフンケル監督からの期待は小さくない。

今季フォルトウナのU19チームでゲームメーカーとして期待されているのは、FCシャルケ04のU19チームから新加入した伊藤遼哉(18歳)だ。日本生まれながら、7歳の時に父親の仕事の関係でオーストラリアへ渡ったリョウヤ



は、更に12歳のときにはスイスへと移り住むことに。スイスでは名門クラブのFCチューリヒとグラスホッパー・チューリヒでプレーし、2012年からはドイツへ活躍の場を移し、バイエルン・ミュンヘンのU15/U16チームに所属した。そして2014年にFCシャルケ04へ移籍し、U17/U19チームでプレーしただけでなく、その間にはU16日本代表(2014年)、U17日本代表(2015年)にも招集されるなど、若くから注目を集めてきた。幼少期から外国で育ってきたこともあり、外国人選手顔負けの強いメンタリティを持ち合わせていることも、リョウヤの特徴と言える。まずはU19チームで活躍し、更なるステップアップを目指し、新シーズンを迎えることになる。

そして3人の中では最も年下になるのが、今季からフォルトウナU17チームでプレーするアペルカンプ真大(15歳)。日本生まれ日本育ちの日独ハーフは、小学生時代はヴェトーリア目黒でプレーし、中学に進むと同時に三菱養和巣鴨JYに入団、ボランチとして活躍してきた。そして2015年夏に、父親の仕事の関係でデュッセルドルフへ移住したことがきっかけとなり、トライアウトを経てフォルトウナU16チームに入団。日本では横浜のドイツ人学校に通っ



ていたこともあり、現地ドイツ人らとのコミュニケーションも一切問題がなく、選手パスが発行されてからは、U16チームの中心として活躍した。そしてそれが評価され、今季はU17チームに昇格を果たしている。

フォルトウナで育ち、フォルトウナで飛躍し、そしてフォルトウナから更に大きな世界へ。それがフォルトウナ・デュッセルドルフが目指す道でもある。このクラブにしかできない形で、日本サッカーの成長や発展に貢献していく。クラブも彼ら“東京オリンピック世代”の飛躍に期待している。是非ともフォルトウナの若きサムライたちの成長に、注目していただきたい。

金城ジャスティン俊樹(中央)

所属:トップチーム

生年月日:1997年02月22日(19歳)

身長/体重:182cm / 72kg

伊藤遼哉(右)

所属:U19チーム

生年月日:1998年05月02日(18歳)

身長/体重:180cm/70kg

アペルカンプ真大(左)

所属:U17チーム

生年月日:2000年11月01日(15歳)

身長/体重:173cm/61kg





アンダーソン・ルコクイ
36 / ANDERSON LUCOQUI

アンダーソン・ルコクィ

Anderson Lucoqui

U19チームからトップ昇格を勝ち取った左サイドのスペシャリスト、アンダーソン・ルコクィ(以下、アンディ)。どんなときも笑顔でプレーする太陽のような男が、これまでのキャリアについてや、今シーズンへの思いなどを語ってくれた。

今年の開幕に向けての準備はどうだった？

とても良いトレーニングが出来ているよ。もちろんすごくハードだったけど、それは最初から分かっていたことだしね。U19チームとトップチームでは大きな違いはあるよ。すべてにおいてスピードが違うし、早い判断も求められるので。でもしっかりやれていると思っているよ。

監督や選手を含めた新チームの様子はどうか？

監督もチームメートもみんなすごく優してオープンだし、ボクが出来ていないことはしっかりと指摘したり、教えたりしてくれているよ。もちろんU19チームにいたときから多くの選手のことには知っていたし、新加入選手とも上手くいってるし、準備期間を通じて良いチームにまとまれたと思っているよ。

プロ契約をしたときはどんな気分だったかな？

これまでの人生で最高の瞬間だったね。小さいころからプロサッカー選手になることが夢だったからね。だからプロ契約するとなったときはすごく嬉しかったし、サインしたあとは言葉に言い表せない感覚だったよ。と同時に、これからはもっともっと成長しなくちゃいけないことを自覚したし、自分をプロサッカー選手にしてくれたクラブに恩返しをしたいと強く思ったね。

今シーズンに期待していることは何か？

もちろん試合に出られれば最高だけど、まだまだ初めての経験がたくさんあるし、1年目は出来るだけ多くのことを学び、吸収したいと思っているかな。ボクのポジションにはアクセル・ベルングハウゼンやルーカス・シュミッツという経験豊富な選手たちがいるので、しっかり見本にしていきたい

いね。それはピッチ上はもちろん、ピッチ外も含めてだよ。それらを含めて、今シーズンがボクにとってどんなものになっていくか楽しみだよ。

アンディは2014年にフォルトウナに加入しているけど、その前には1.FCケルンとバイヤー04レヴァークーゼンでプレーしてたよね。

ボクはレヴァークーゼンに7年間いたけど、徐々に問題が生じてきたので1.FCケルンに移ったんだ。そこでの3年間は素晴らしかったけど、U19に上がるところで、この先そこで試合に出るのは難しいと思ってね。更に学校のこともあって、サッカーと勉強を両立出来る中でベストな選択として、フォルトウナへ移籍することを決めたんだ。今振り返って考えたら、正しい選択をしたと思っているよ。

アンディとエマ(エマニュエル・イヨハ)は幼馴染だよ。

ボクたちはレヴァークーゼンのU9で一緒になって、U14まで一緒にプレーしてたんだ。その後ボクはケルンへ、エマはフォルトウナへ移ったけど、同じリーグで何度も対戦していたよ。そしてボクがU19からフォルトウナへ来てからはまた一緒にプレーすることになったんだ。エマとは物心がつく頃からピッチ上でもピッチ外でも一緒だったから。両親同士も良く知っているし、ボクたちもお互いに理解し合っているんだ。そういう選手がチームメートにいるのは特別なことだよ。

これまでに日本に関して、何か経験したことや印象はあるかな？

ボクは昔から日本の文化にとっても興味を持っていたんだ。漫画を読んだりもするし、近い将来日本に行きたいと本気で思ってるよ。ジャスティンに教えてもらったんだけど、「ボクノナマエハアンディデス」は言える

ようになったよ(笑)。それ以外にも日本のチームと対戦した経験があるけど、日本の選手は技術が高く運動量もあって、すごく苦勞した記憶があるね。それから日本食ならお寿司が好きだね。デュッセルドルフにはたくさん日本食レストランがあるし、是非ジャスティンに連れて行ってもらいたいと思ってるよ。

最後に日本人のフォルトウナファンにメッセージを。

ボクは自分のプレーを通じて出来るだけ多くの人を喜ばせたいと思ってるんだ。もちろんそれは日本人の皆さんも含めてだし、ボクはそんな日本の方々からいろいろなことが学びたいと思ってるよ。とにかく日本の文化が大好きだからね。日本人の皆さん、是非いろいろ教えてください。よろしくお願いします！

Anderson Lucoqui



- ➡ 背番号: 36
- ➡ 生年月日: 1997年07月06日
- ➡ 身長: 184cm
- ➡ 体重: 72kg
- ➡ 国籍: ドイツ/アンゴラ
- ➡ 加入年: 2014年
- ➡ 出身地: ツヴァイブリュッケン
- ➡ 現住所: デュッセルドルフ



FORTUNA



➡ 最前列、左から右へ:

Özkan Yildirim, Taylan Duman, Justin Toshiki Kinjo, Julian Schauerte, Michael Rensing, Tim Wier
Mannschaftsarzt Dr. Ulf Blecker, Mannschaftsarzt Dr. Ulrich Keil, Mannschaftsarzt Dr. Thomas
Mannschaftsbetreuer Aleksandar Spengler, Mannschaftsbetreuer Oliver Paashaus, Sportpsychologe
Cheftrainer Friedhelm Funkel.

➡ 3列目、左から右へ:

Ihlas Bebou, Marcel Sobottka, Oliver Fink, Julian Koch, Maecky Ngombo, Emmanuel Iyoha, Alex

DÜSSELDORF

SAISON 2016/17

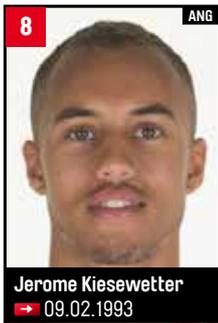


ner, Lars Unnerstall, Kemal Rüzgar, Christian Gartner, Marlon Ritter, Arianit Ferati, Axel Bellinghausen.

Wieczorek, Physiotherapeut Thomas Gucek, Physiotherapeut Marcel Verstappen, Chef-Physiotherapeut Carsten Fiedler, Sportlicher Coach Axel Zehle, Torwarttrainer Claus Reitmaier, Athletiktrainer Florian Klausner, Co-Trainer Peter Hermann,

Andreas Madlung, Kevin Akpoguma, Robin Bormuth, Adam Bodzek, Jerome Kiesewetter, Lukas Schmitz, Anderson Lucoqui.

FORTUNA DÜSSELDORF



SAISON 2016/17



トップチームメンバー

ゴールキーパー

→	1	Michael Rensing	14.05.1984
→	19	Lars Unnerstall	20.07.1990
→	38	Tim Wiesner	21.11.1996

ディフェンダー

→	2	Julian Koch	11.11.1990
→	4	Julian Schauerte	02.04.1988
→	6	Kevin Akpoguma	19.04.1995
→	15	Lukas Schmitz	13.10.1988
→	32	Robin Bormuth	19.09.1995
→	36	Anderson Lucoqui	06.07.1997
→	39	Alexander Madlung	11.07.1982

ミッドフィールダー

→	7	Oliver Fink	06.06.1982
→	9	Özkan Yildirim	10.04.1993
→	11	Axel Bellinghausen	17.05.1983
→	13	Adam Bodzek	07.09.1985
→	21	Christian Gartner	03.04.1994
→	24	Justin Toshiki Kinjo	22.02.1997
→	27	Taylan Duman	30.07.1997
→	30	Arianit Ferati	07.09.1997
→	31	Marcel Sobottka	25.04.1994

フォワード

→	8	Jerome Kiesewetter	09.02.1993
→	10	Marlon Ritter	15.10.1994
→	20	Emmanuel Iyoha	11.10.1997
→	22	Maecky Ngombo	31.03.1995
→	23	Kemal Rüzgar	20.06.1995
→	37	Ihlas Bebou	23.04.1994

監督

→		Friedhelm Funkel	10.12.1953
---	--	------------------	------------

新加入選手 / 移籍選手

→ **新加入選手:** Robin Bormuth (eigene U23), Kemal Rüzgar (eigene U23), Arianit Ferati (Hamburger SV), Taylan Duman (eigene U19), Emmanuel Iyoha (eigene U19), Anderson Lucoqui (eigene U19), Jerome Kiesewetter (VfB Stuttgart), Maecky Ngombo (Roda Kerkrade), Marlon Ritter (Borussia Mönchengladbach), Özkan Yildirim (Werder Bremen).

→ **移籍選手:** Christopher Avevor (FC St. Pauli), Mattis Bolly (SpVgg Greuther Fürth), Sergio da Silva Pinto (Karriere beendet), Kerem Demirbay (TSG Hoffenheim), Nikola Djurdjic (Partizan Belgrad), Tugrul Erat (MSV Duisburg), Fabian Holthaus (Hansa Rostock), Charalampos Mavrias (AFC Sunderland), Joel Pohjanpalo (Bayer 04 Leverkusen), Sercan Sararer (SpVgg Greuther Fürth), Christian Strohdiek (SC Paderborn 07).



シーズン開幕を前に、マラガFCと激突。

Gute Generalprobe gegen Malaga CF

開幕を1週間後に控えた週末、フォルトウナは2日間に渡ってシーズンオープンデーを開催し、その初日はスペイン1部リーグ所属のマラガCFとフレンドリーマッチを実施した。4000人を超えるサポーターが見守った一戦は、2-3で相手に軍配が上がったものの、スペイントップクラブを相手に好ファイトを見せた。

ユースアカデミー出身のヤングスター、エマニュエル・イヨハ(18歳)がワントップに入ったフンケル監督率いるフォルトウナは、試合開始早々から攻勢に出ると、開始から15分までに4つのシュートチャンスを作り出すなど、立ち上がりからリズムを掴む。しかし20分、ディフェンスラインでの連携ミスからボールを奪われると、そのまま相手に先制点を奪われてしまう。それでも積極的に攻めるフォルトウナは、その3分後にすぐさま反撃に出ると、ルーカス・シュミッツのセンタリングを中央でオリバー・フィンクが押し込み、試合を振り出しに戻すことに成功する。

後半に入り、両監督共に選手交代を行い始めると、再びフォルト

ウナのディフェンスラインでミスコミュニケーションが生じ、62分、71分に連続してゴールネットを揺らされてしまう。それでも終盤になり反撃を仕掛けたフォルトウナは、この日19歳の誕生日を迎えたタイラン・デュマンが惜しいシュートを放つと(83分)、その1分後にヴェルダー・ブレーメンから新加入のウツカン・イルディリムがマラガゴールネットを揺らすことに成功する。1点差に迫ったフォルトウナは最後まで同点ゴールを目指したが、しかし残念ながらタイムアップまで相手ディフェンスを崩すことは出来ず。その結果、試合は2-3で惜敗となったが、スペイン1部のトップクラブを相手に好ファイトを見せたチームに、

フンケル監督も一定の手応えを感じていた。



あいにくの天気も、ファンが楽しめるイベントに。

Beste Laune bei den Rot-Weißen trotz Regenschauern

7月31日(日)にESPRITアリーナ横のアリーナ・スポーツパーク内で開催された今年のシーズンオープナー2日目の「ファミリーデー」には、時折雨が降るあいにくの天気になったにも関わらず、8000人を超えるファンが詰めかけた。そして彼らは会場に特設された様々なアトラクションを通じて選手たちとの交流を楽しみ、その後に行われたサイン会なども大盛況となった。



毎年恒例となっているシーズンオープナーでの公開トレーニング。今年も午前11:00前にESPRITアリーナ内に選手たちが登場すると、スタンドで待ち受けていたファンから大きな拍手が巻き起こる。そして選手たちはフンケル監督とヘアマンコーチの指揮の下、ボール回し、パス練習、シュート練習と次々にメニューを消化していった。シュートがゴールネットを揺らす度に

ファンから拍手が送られる横では、シェーファー会長やルーテミュラースポーツ役員らがマイクを使って挨拶をしたほか、トレーニング終了後は選手たちもインタビューに答えるなど、終始和やかな雰囲気の中で行われた。

トレーニングが終了すると、選手たちは会場に特設された様々なブースに散らばり、ファンとの交流を行うことに。体験型のアトラクションに

積極的に参加したり、ファンらの要求に応じて写真撮影やサインを書くなどしてファンらと触れ合った。そしてその後は会場内に設置された14箇所ので2選手ずつ分かれてのサイン会がスタート。ファンらはスタンプリング感覚で会場内を歩きながら、選手たちのサインカードを集めて回るなどして、この日のイベントを最後まで楽しみ、新シーズンへの期待を膨らませて帰路についた。



金城がテストマッチで大活躍も、右膝を負傷。

2 Tore und eine Knieverletzung von Justin Toshiki Kinjo

オーストリアのマリア・アルムにて8日間の一次キャンプを行ったフォルトゥナは、このキャンプ中2試合のテストマッチを実施した。フランス1部クラブFCロリアン戦では、金城ジャスティン俊樹が2得点の活躍を見せ、3-3の結果に大きく貢献するも、その後に悪質なファールを受け、右膝を負傷してしまうアクシデントに見舞われてしまった。また第2戦では、GKラース・ウナーシュタールがロスタイムに得点を挙げ、チェコ王者のヴィクトリア・ピルゼンと引き分けている。



F95 3-3 FC LORIENT

オーストリアキャンプ最初のテストマッチの相手はフランス1部のFCロ

リアン。立ち上がりはリズムを掴んだフォルトゥナだったが徐々に押し込まれると、前半に1点のビハインドを負ってしまう。後半は両チームともにゴールラッシュとなったが、その中で躍動したのは金城ジャスティン俊樹。若き日本人は、52分には

左足で、そして58分に右足で、それぞれミドルシュートを突き刺し、その能力の高さを証明する。しかし80分、相手選手の悪質なタックルを受け、右膝を負傷し、途中交代を余儀なくされてしまう。試合は共に3点ずつを取り合って、引き分けとなった。



F95 1-1 VIKTORIA PILSEN

テストマッチ2戦目は、チェコ王者のヴィクトリア・ピルゼン戦。前半は大雨が降る悪条件の中、24分に先制点を奪われてしまう。フォルトゥナも36分にクリスチャン・ガートナーが相手GKと1対1を迎えるも、この好機を活かすことが出来な

い。0-1で折り返した後半は、フォルトゥナが圧倒的な攻撃力を見せる。しかしフリーキックやコーナーキックで次々に相手ゴールに迫るも、決定力を欠き、なかなか相手ゴールを奪うことが出来ない。ところがロスタイム、GKラース・ウナーシュタールが前線に上がると、コーナーキックのボールが彼の頭にピタリと合い、これが値千金の同点ゴール。そして間もなくタイムアップとなった。



開幕に向けて二次キャンプでもハードワーク。

Harte Arbeit im zweiten Trainingslager zum Saisonauftakt

負傷離脱となった金城も含めたすべての選手が、ドイツ国内のヴィーゼンゼーでの二次キャンプをスタートさせた。このキャンプ中は晴天にも恵まれ、炎天下の中、ハードなトレーニングを行っただけでなく、2試合のテストマッチを実施。かつてフォルトウナの指揮官を務めたオリバー・レック監督率いるオッフエンバッハ・キッカーズに3-0で勝利したチームは、キャンプ最終日にはFCヴェックベルク・ベークと対戦し、こちらも8-1の快勝を取めた。



二次キャンプ4日目に行われたオッフエンバッハ・キッカーズのオリバー・レック監督は、2シーズン前にフォルトウナの指揮官を務め

F95 3-0 Kickers Offenbach

ていたこともあり、多くの選手たちにとっては嬉しい再会となった。

試合はホームのオッフエンバッハが積極的な攻撃を見せ、キャンプの疲れが見えるフォルトウナは我慢の時間が続く。それでもGKミヒャエル・レンジングが安定したパフォーマンスを見せ、失点を許さないと、後半の終盤になり、フォル

トゥナが自力を見せ始める。まずはロングボールに抜け出したアンダーソン・ルコキの折り返しをジェロム・キーゼヴェッターが押し込み先制すると、続けてアダム・ボツツェックが追加点。そして試合終了間際にはルコキが自ら決めて3-0とし、最終的にはフォルトウナが完勝を取める結果となった。



F95 8-1 FC Wegberg-Beeck

フォルトウナはキャンプ最終日、デュッセルドルフへ戻る途中で、ドイツ5部クラブのFCヴェックベルク・ベークとテストマッチを行った。試合は開始早々からフォルトウナが主導権を握る展開になると、18分からゴールラ

ッシュとなる。そして前半だけでイラス・ベブーとエマニュエル・イヨハがそれぞれ2得点ずつを決めるなど6点のリードを奪うと、後半にもキーゼヴェッターが2試合連続となるゴールを含む2得点を挙げ、大きくリードを奪うことに成功する。最後はミスから1失点を喫するも、終わってみれば8-1の大勝となり、良い形でこのキャンプを締めくくることがとなった。





熊本復興支援活動。

Benefiz-Aktion in KUMAMOTO

今年の4月、熊本を中心とする大きな地震が発生し、多くの方々が多大なる被害を受けた。そこで被災した子供たちをサッカーを通じて元気付けるために、日本デスクの瀬田元吾が熊本の被災地を訪れ、現地ではモバイル・フォルトウナサッカースクールも開催するなど、様々な活動を行ってきた。

昨シーズン終了後、5月末に日本出張へと飛び立った日本デスクの瀬田は、今年4月に起こった熊本地震の被災地へ支援活動をするために、その足でそのまま熊本へ向かった。現地では瀬田の古くからの友人であり、現在はロアツウ熊本でプレーする、2006年ドイツW杯にも出場した元日本代表の巻誠一郎氏と共に、数ヶ所の被災地を回った。また3ヶ所の小学校などを訪問し、子供たちと一緒にサッカーするなどして被災した方々を元気付けた。その中でも瀬田は、大きな被害を受けていた山西小学校で、奇跡的な再会を経験することに。同校を訪問

した際に、ある一人の女性教師が歩み寄ると、「フォルトウナの瀬田さんですか？」と声を掛けられる。それは、2年前までデュッセルドルフ・オーバーカッセルのデュッセルドルフ日本人学校で教諭を務めていた菅紫氏だった。熊本の小さな学校での再会は、同校の先生らにも歓迎されることに。瀬田はこの学校への訪問の証に、フォルトウナの選手たちのサイン入りユニフォームを寄付し、再び訪れることを約束して、この学校に別れを告げた。

また、巻氏が運営しているフットサルコートにて、瀬田が日本で行っているモバイル・フォルトウナ

サッカースクールも実施。通常通り、サッカードイツ語のレッスンを行ったのち、ピッチに出てそのドイツ語を使ってトレーニングを行ったが、普段とは違う条件の中、子供たちは大きな声を出して積極的にボールを追いかけた。なお、このスクールに参加した子供たちには“KUMAMOTO”の文字が入ったスクールユニフォームをプレゼントした。フォルトウナはこういった活動を通じて、被災した子供たちに少しずつ夢を持てるようになっていった欲しいと願うと共に、一日も早い復興を祈っている。





DB Schenkerは、DB(ドイツ鉄道)グループの輸送・ロジスティクス部門を担う総合物流企業です。日本では西濃シエンカー株式会社として1964年よりサービスを提供しております。

サービスのご案内

- | | | |
|--------------------------|-------------------|-----------|
| ■ 航空貨物 | ■ 倉庫保管業務 | ■ 通関業務 |
| ■ 海上貨物 | ■ ドイツ及びヨーロッパ内陸上輸送 | ■ 展示会/見本市 |
| ■ ロジスティクス&サプライチェーンマネジメント | ■ 国際プロジェクト | ■ 海外引越 |

デュッセルドルフ支店・ジャパンディビジョンでは、カスタマーサービス、セールスにつきまして日本人スタッフが対応させていただいております。

DB Schenker is a part of the Transport and Logistics Division of Deutsche Bahn AG and providing integrated logistics services. Schenker-Seino Co., Ltd has been active in the Japanese market since 1964 and is your leading logistic partner.

Service Range:

- | | | |
|--------------------------|---|----------------------|
| ■ Air Freight | ■ Warehouse and Inventory Management | ■ Customs Clearance |
| ■ Ocean Freight | ■ Land Transportation in Germany and Europe | ■ Fairs/Events |
| ■ Contract Logistics/SCM | ■ Project Services | ■ Household Removals |

お問い合わせ: **Branch Office Duesseldorf, Japan Division**
Wanheimerstrasse 61, 40472 Duesseldorf, Germany, Phone +49 211 9074-346, Fax +49 211 9074-146
japan-division.germany@dbschenker.com, www.dbschenker.com/de, www.schenker-seino.co.jp

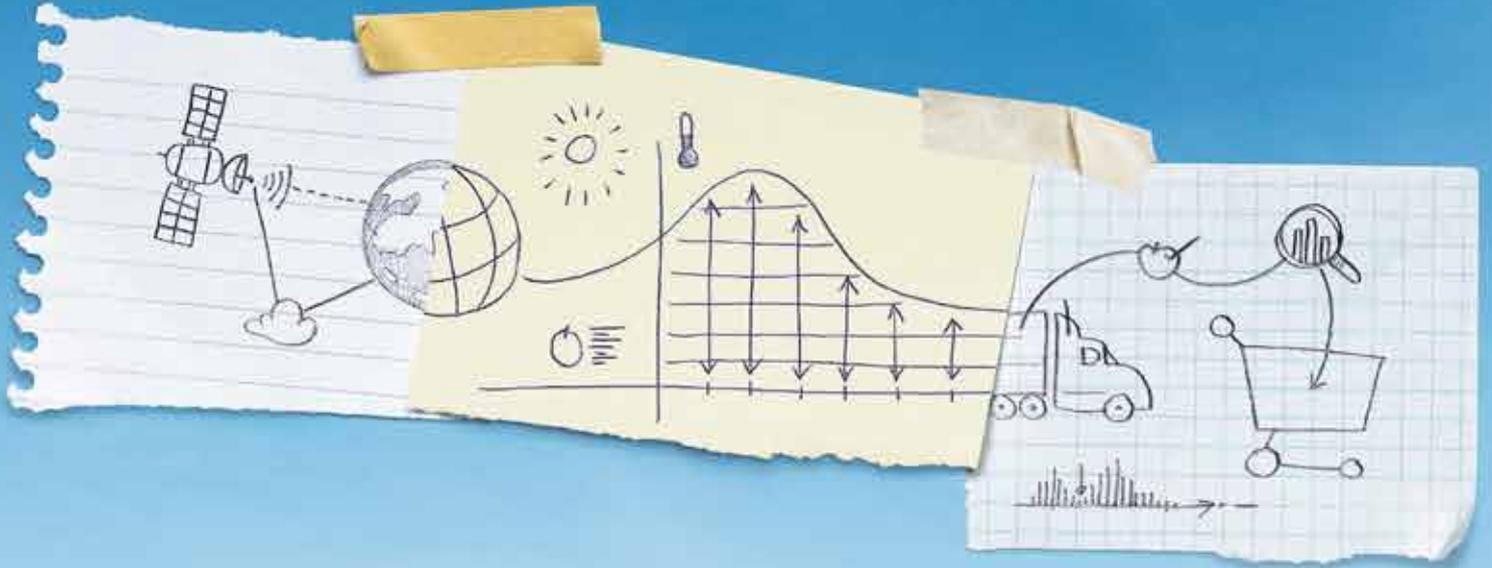
offset cmyk
dtp proof schmuckfarben
photoshop fünf+lack FSC illustrator
prepress scannen bogen
nutzen einfarbig indesign
klimanutral vierfarbig kleben quark
zickzackfalz ctp andruck
digitaldruck

CLASENI GmbH
ihr printmedienpartner in düsseldorf



Geschäftsführung: Michael Klein & Achim Krause

HITACHI
Inspire the Next



THE FUTURE IS OPEN TO SUGGESTIONS

未来は、オープンだ。アイデアで変えられる。

私たちの未来をつくる社会イノベーション。それはいつも、シンプルなアイデアから始まり、やがて世界を変えていく。さまざまな人々が連携することで、その可能性がひろがり、一つひとつ現実のものになっていくのです。だから日立は、協創を加速する革新的なプラットフォームで、IoT時代をリードしていきます。ともに考え、ともに取り組むことで、社会イノベーションがより豊かな未来へと動きだします。

social-innovation.hitachi

Hitachi Social Innovation